論文のタイトル

著者名

November 19, 2024

Abstract

この論文の要約です。研究の概要、方法、結果、および結論を簡潔に示します。 お願いします。

1 Feynman 図

以下に、基本的な Feynman 図の例を示します。



Figure 1: 基本的な Feynman 図の例

名前	年齢	職業
Alice	24	エンジニア
Bob	27	デザイナー
Charlie	22	データサイエンティスト

Table 1: サンプルの表

2 Chern-Simons 理論

$$S_{\rm CS} = \frac{k}{4\pi} \int_{\mathbb{R}^3} \epsilon^{\mu\nu\rho} \text{Tr} \left(A_{\mu} \partial_{\nu} A_{\rho} + \frac{2}{3} A_{\mu} A_{\nu} A_{\rho} \right) d^3 x \tag{1}$$

 $A_\mu=A_\mu^aT^a$ は $\mathrm{SU}(2)$ ゲージポテンシャル。 T^a は $\mathrm{SU}(2)$ の生成子であり、 $\mathrm{Tr}(T^aT^b)=\frac{1}{2}\delta^{ab}$ を満たします。 $\epsilon^{\mu\nu\rho}$ はレヴィ・チヴィタ記号です。k は量子化されたレベル(整数値)です。まず、トレースの中身を展開します:

$$\operatorname{Tr}\left(A_{\mu}\partial_{\nu}A_{\rho} + \frac{2}{3}A_{\mu}A_{\nu}A_{\rho}\right)$$

これを成分ごとに書き下すと:

$$\operatorname{Tr}\left(A_{\mu}^{a}T^{a}\partial_{\nu}(A_{\rho}^{b}T^{b}) + \frac{2}{3}A_{\mu}^{a}T^{a}A_{\nu}^{b}T^{b}A_{\rho}^{c}T^{c}\right)$$

生成子 T^a の性質 $\mathrm{Tr}(T^aT^b)=\frac{1}{2}\delta^{ab}$ を使うと:

$$\operatorname{Tr}\left(A_{\mu}^{a}T^{a}\partial_{\nu}(A_{\rho}^{b}T^{b})\right) = A_{\mu}^{a}\partial_{\nu}A_{\rho}^{b}\operatorname{Tr}(T^{a}T^{b}) = \frac{1}{2}A_{\mu}^{a}\partial_{\nu}A_{\rho}^{b}\delta^{ab} = \frac{1}{2}A_{\mu}^{a}\partial_{\nu}A_{\rho}^{a}$$

同様に、三重項の部分も展開します:

$$\operatorname{Tr}\left(A_{\mu}^{a}T^{a}A_{\nu}^{b}T^{b}A_{o}^{c}T^{c}\right) = A_{\mu}^{a}A_{\nu}^{b}A_{o}^{c}\operatorname{Tr}(T^{a}T^{b}T^{c})$$

ここで、SU(2) の生成子のトレースの性質を考慮すると、三重項のトレースは非ゼロの対称部分のみを考慮します。

これらをまとめると、Chern-Simons 作用は次のように書き直せます:

$$S_{\rm CS} = \frac{k}{4\pi} \int_{\mathbb{R}^3} \epsilon^{\mu\nu\rho} \left(\frac{1}{2} A^a_\mu \partial_\nu A^a_\rho + \frac{2}{3} f^{abc} A^a_\mu A^b_\nu A^c_\rho \right) d^3x$$

ここで、 f^{abc} は SU(2) の構造定数です。

このように、Chern-Simons 作用の式を成分ごとに展開し、生成子の性質を利用して変形しました。

3 方法

このセクションでは、研究で使用された方法と手順を説明します。今まで勉強した内容について詳しく説明します。具体的には、使用したデータセット、実験の手順、および分析方法について述べます。

4 結果

このセクションでは、研究の結果を示します。

5 考察

このセクションでは、結果を解釈し、その意味を議論します。

$$H = \sum_{i < j < k < l} J_{ijkl} \chi_i \chi_j \chi_k \chi_l \tag{2}$$

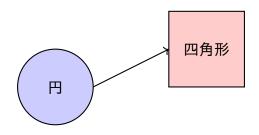


Figure 2: 基本的な図形の例

6 結論

このセクションでは、主な発見をまとめ、将来の研究の方向性を提案します。

References

[1] 著者, 書籍のタイトル, 出版社, 年.